

【12/14 土@福岡】 国連総会報告会開催！ 「ポスト MDGs に関する 国際動向から見る NGO の役割」

今年9月の第68回国連総会にて、2015年までに世界の貧困を半減させるなど8つの具体的な目標を定めた「ミレニアム開発目標（MDGs）」に関する特別会合が開催されました。

ここでは、MDGsの進捗をさらに加速化させること、国内外のあらゆる資源を活用した新たなグローバル・パートナーシップの推進、および、MDGsの達成期限である2015年以降のグローバルな開発目標である「ポスト2015年開発目標」について議論がなされました。

「誰も置き去りにしない（Leave No One Behind）」を合言葉に、2030年までに絶対的貧困をゼロにするなどの国際的目標が作られつつあります。

また、開発分野だけでなく、障害分野では「障害インクルーシブな開発」といった議論がなされていたり、昨年開催された「国連・持続可能な開発会議（リオ+20）」以降、環境分野では「持続可能な開発目標（SDGs）」に関する国際的な議論も進んでいます。

日本政府は国際保健（Global Health）と災害リスク軽減（Disaster Risk Reduction）を軸として、様々な国際会議の場でポスト2015年開発目標の議論に加わっています。

この議論に、日本の国際協力 NGO はどのように関わっていくべきなのでしょう。

本セミナーでは、国連総会およびサイドイベントに出席した NGO メンバーがそれぞれの報告を行い、「ポスト2015年開発目標」の最新潮流をお伝えするとともに、それぞれの地域でのゲストをお迎えした講演やグループディスカッションを通じて、日本の国際協力 NGO が「ポスト2015年開発目標」の策定への関わりや、提言活動を実施するうえでどのように戦略立てて活動できるのかを議論します。

【日時】 2013年12月14日（土）14:00-16:00

【場所】 リファレンス駅東ビル 会議室 P（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14）

【アクセス】 JR「博多」駅筑紫口より徒歩4分

【対象】 国際協力活動に従事する NGO 関係者、NGO を支援する公的・民間ドナー関係者、NGO に関心をもつ市民

【定員】 30名（要申込、定員になり次第締切り）

※申し込みフォーム：

https://docs.google.com/forms/d/1Eus_aokn6BA-ElxgHFprFZ0joV6DGBqFRi-uZ-slCcE/viewform
（締切：12月7日）

【参加費】 無料

※【プログラム】と【地図】は裏面をご覧ください。



【プログラム】

第1部： 報告・講演 （45分）

ポスト2015開発目標に向けて＝「動く→動かす」の歩み＝
国連総会およびサイドイベント、NGO会議の報告

報告：稲場 雅紀（動く→動かす 事務局長）
堀内 葵（国際協力NGOセンター 調査提言グループ）

地域で活動するNGOが国際的な議論に関わる意義

講演：藤井 大輔（債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表）

第2部：グループディスカッション（105分）

テーマ：NGOが事業や提言活動を行うにあたり、
ポストMDGs課題とどのように関連付けることができるか。

ファシリテーター：藤井 大輔（債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表）

【主催】 外務省（※平成25年度NGO研究会）

【実施団体】 （特活）国際協力NGOセンター

【お問い合わせ】 （特活）国際協力NGOセンター（担当：堀内）

E-mail：advocacy@janic.org Tel：03-5292-2911

【場所】 **リファレンス駅東ビル 会議室P**（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14）

【アクセス】 JR「博多」駅筑紫口より徒歩4分



■徒歩
JR博多駅筑紫口より約4分
博多スターレーン方面へ向かい
お弁当のHOTTO MOTTO角を右折。
左側ガラス貼りのビル。
（1階コインパーキング）

■お車
都市高速「博多駅東」出口。
橋を渡り、右折。
一方通行にご注意下さい。（地図参照）

